

2023年全国看護学生 アンケート調査

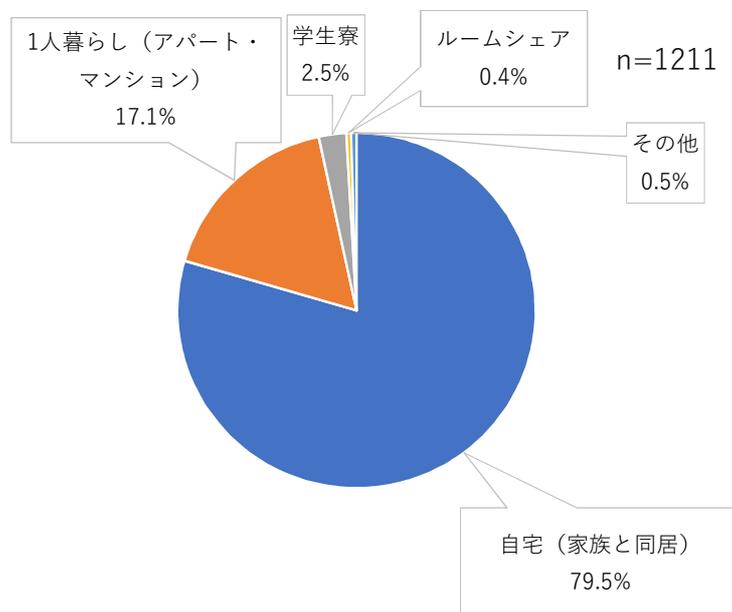
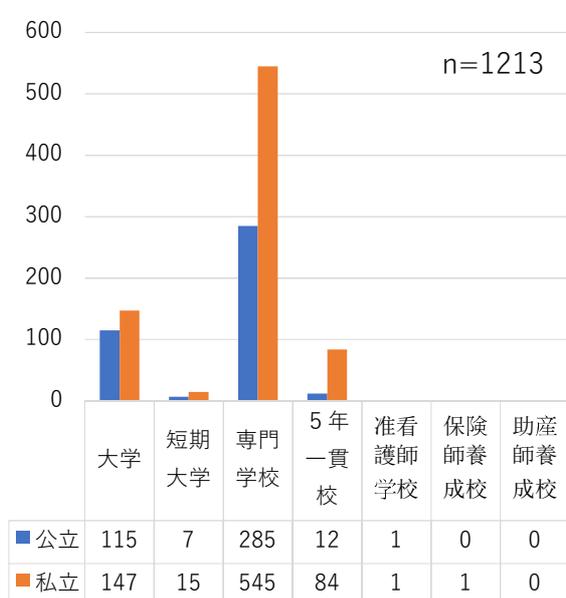
42都道府県 1,214人から回答を得た
 期間：2023年7月21日～9月8日
 方法：Googleフォームにて、県名以外は無記名回答
 比較データとして、2020～2022年調査を引用した

- 報告の柱
- I 経済状況
 - II 学費について
 - III 奨学金
 - IV アルバイト



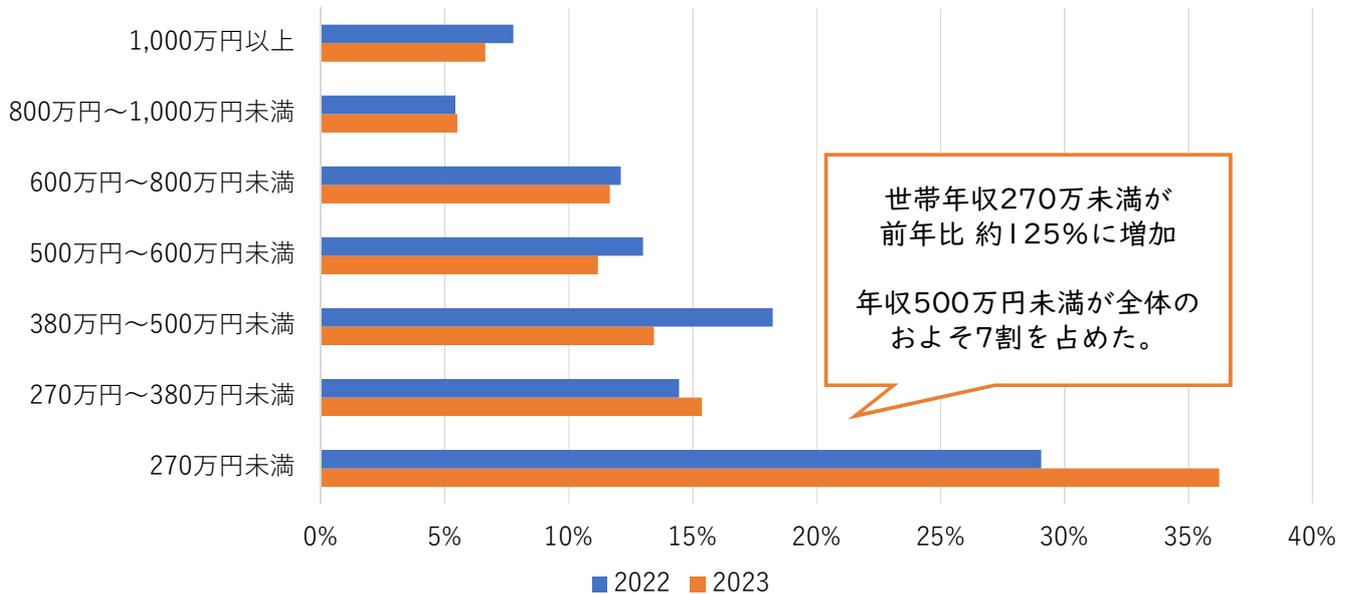
2023年10月 全日本民主医療機関連合会

学校種別と住まい



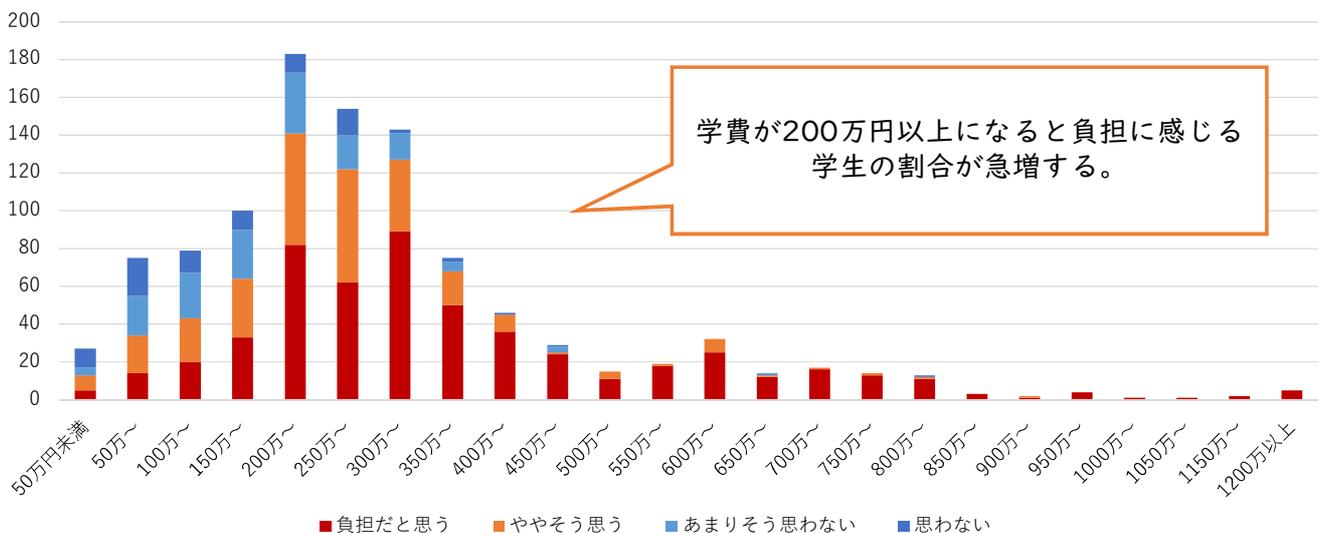
世帯年収が270万未満の学生が大きく増加

世帯の年収（自身のアルバイト収入を含めない）（n = 618人）



学費と負担感の関係

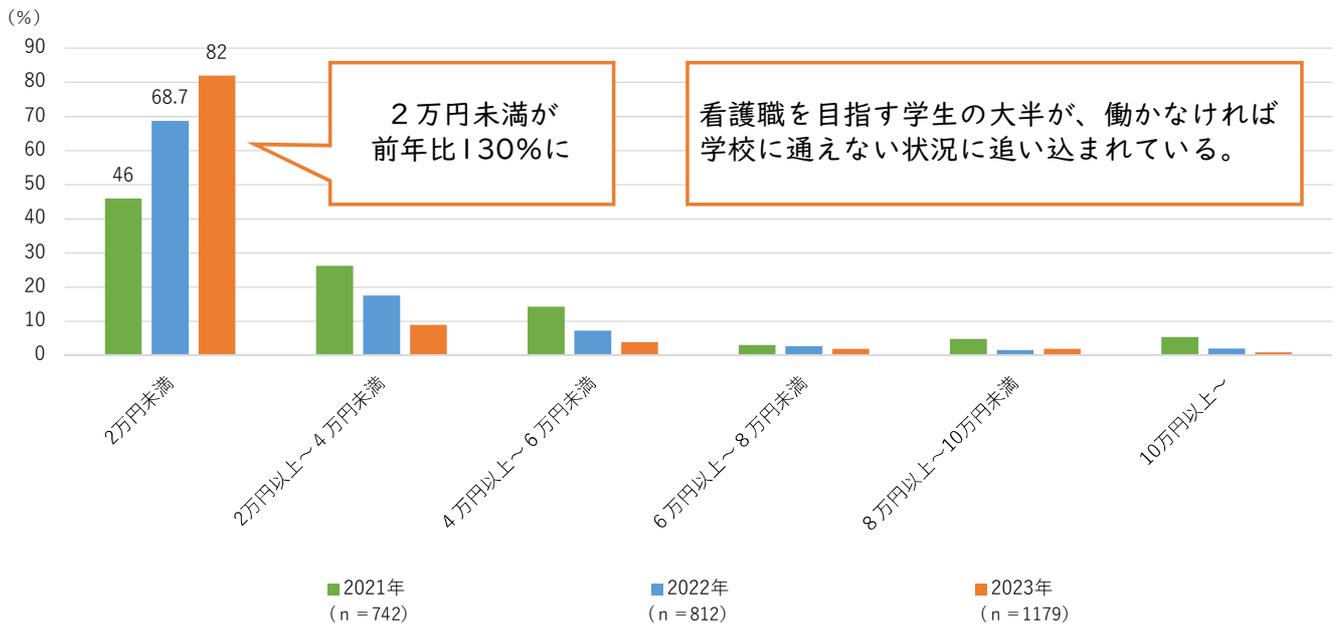
n=1124



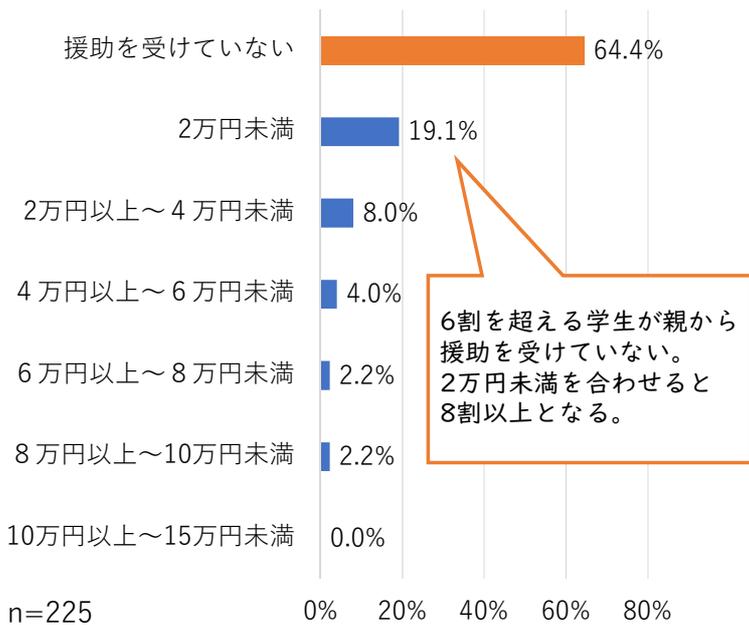
「令和2年度 学生・生徒納付金調査(文科省)」によると、看護専門学校の学費は、初年度で平均1,086,000円となっている。専門学校の多くが3年制であることを考えると、トータルで約200～300万円程度が想定される。

(因みに回答者の2割を占める看護大学は500～700万円と3倍近くかかる)

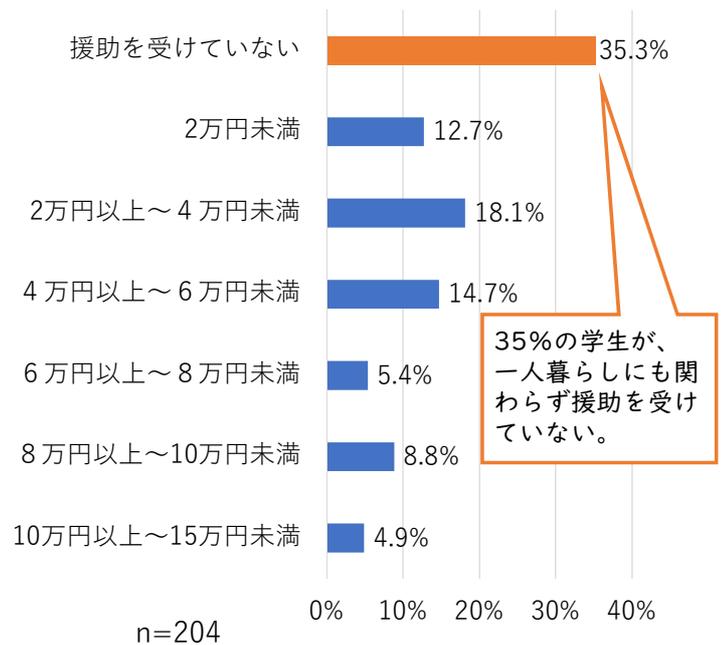
親などからの援助額の推移 (1カ月当たり)



年収270万円未満の家庭の援助額

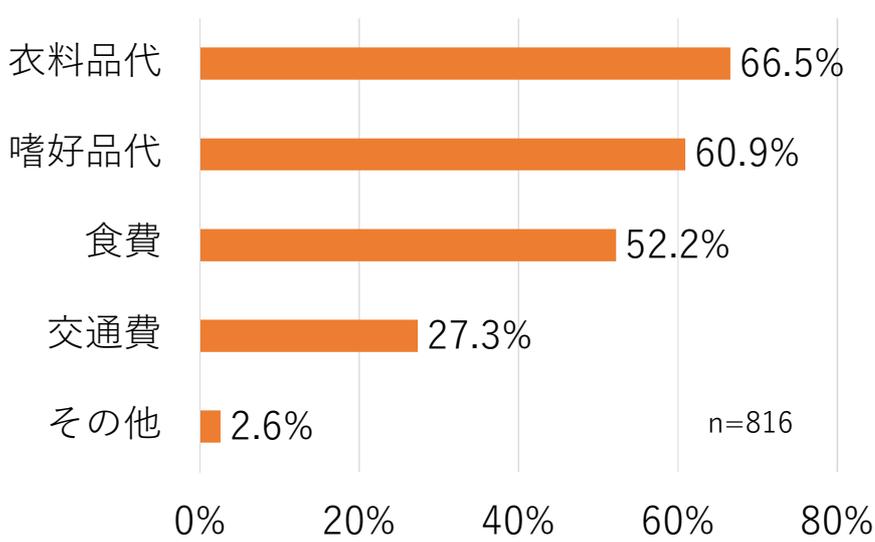


一人暮らしの学生の援助額



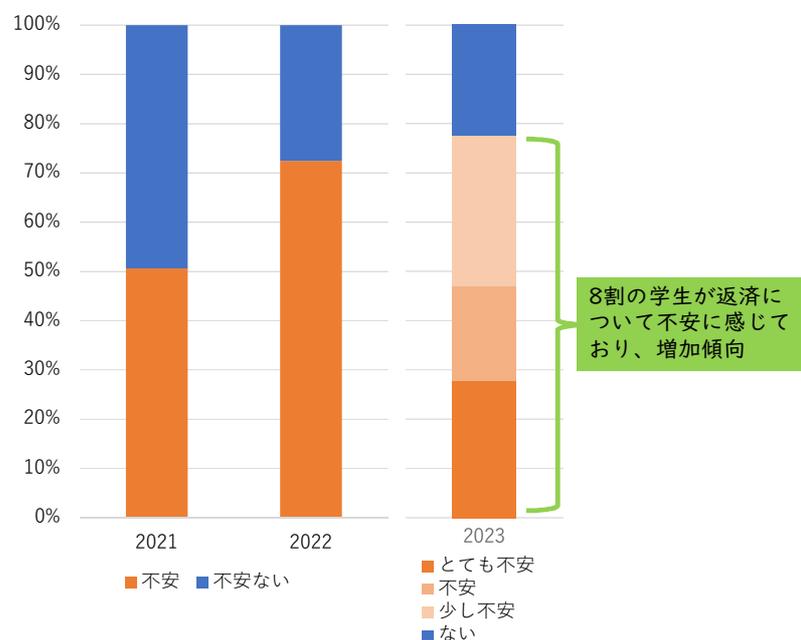
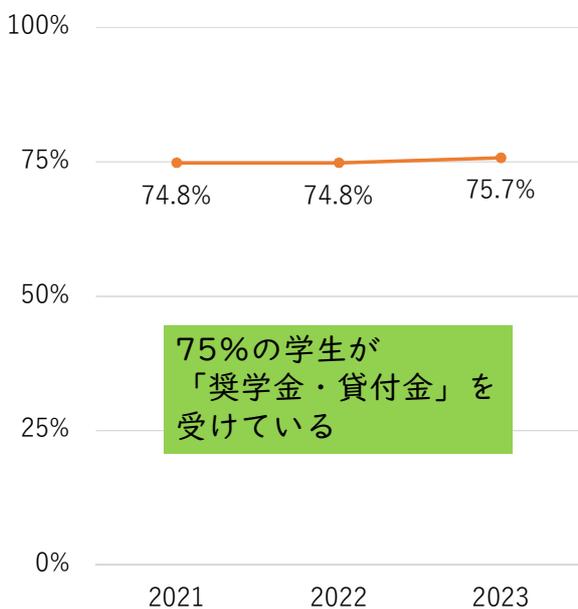
世帯年収が380万円未満まで対象を広げても援助を受けられない学生は61%と変わらない

経済的にゆとりがない学生は、何を節約しているか？

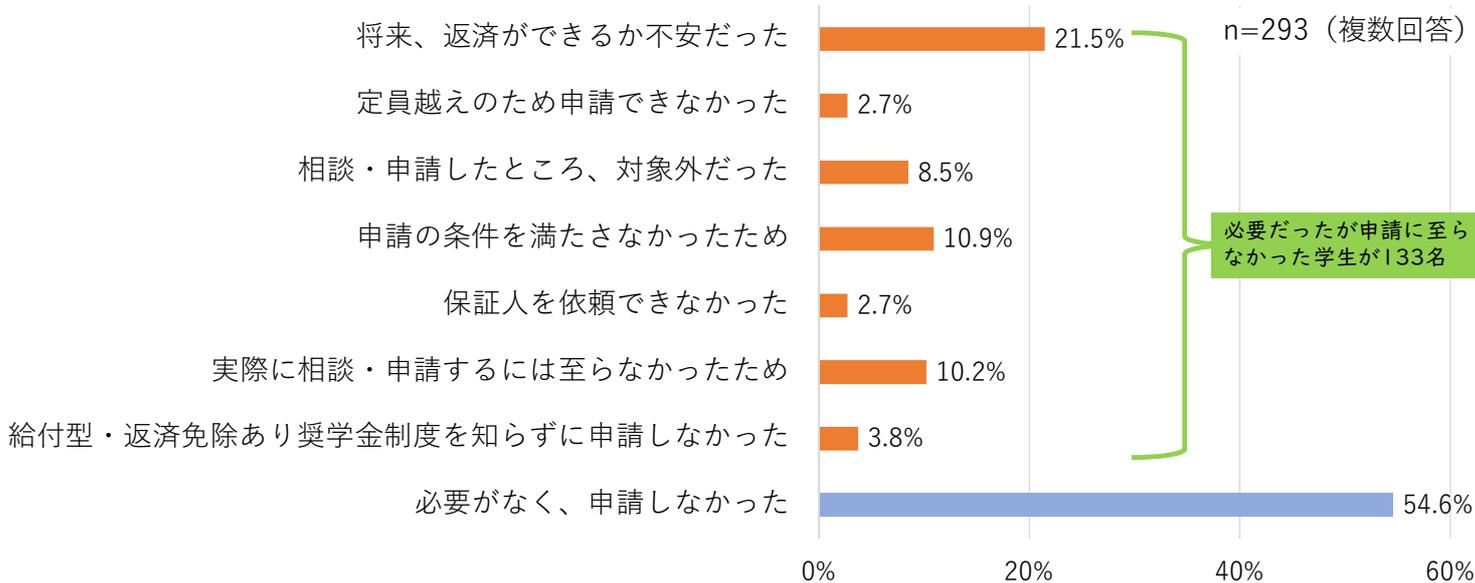


その他内訳	
電気代	9
交際費	5
娯楽	5
通信費	1
実習・授業準備費	1
歯医者	1
通院	1
外食	1

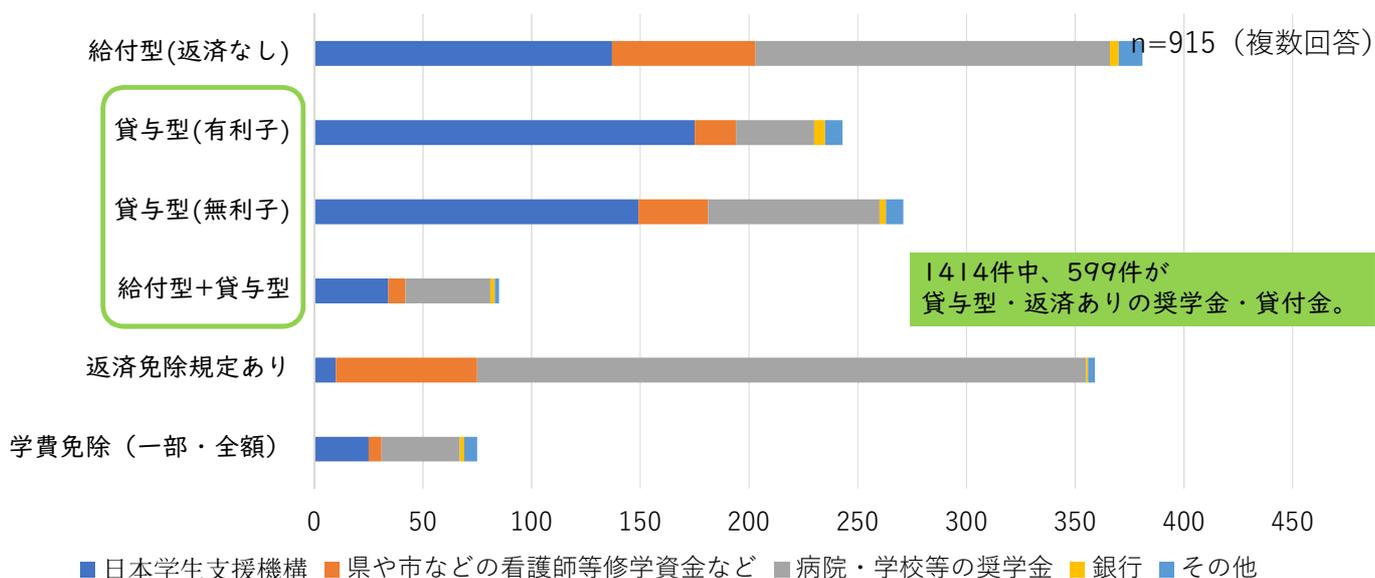
8割の学生が奨学金返済に不安を感じている



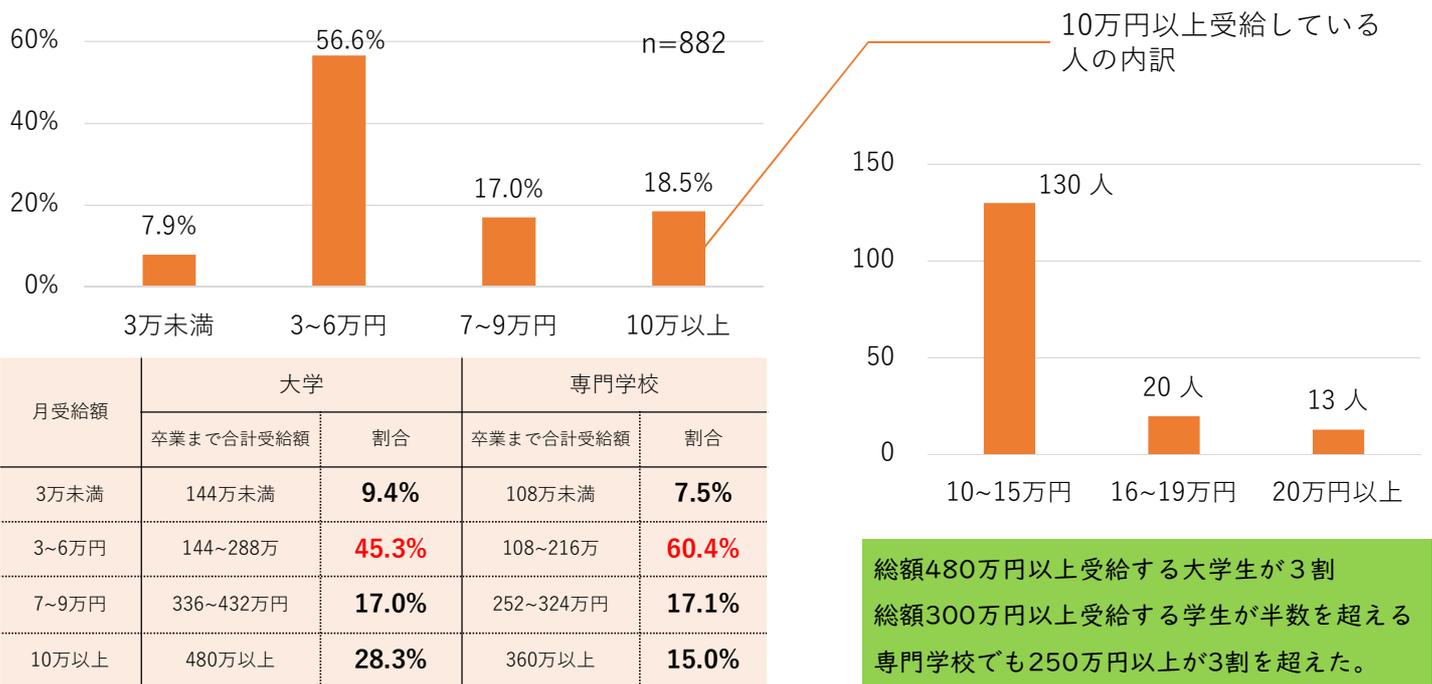
奨学金が必要だったが 申請に至らなかった学生が半数いた



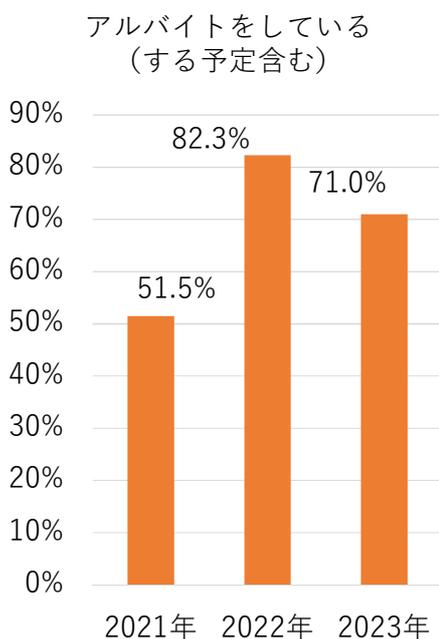
全体の42%を貸与型（学生ローン）が占めている



年間の奨学金受給額（複数受給の場合合算）



アルバイトをしている学生は7割 実習期間中でもアルバイトをしている学生も



奨学金だけでは足りない。
将来の奨学金の返済も
心配している。
心の余裕がなくなる。

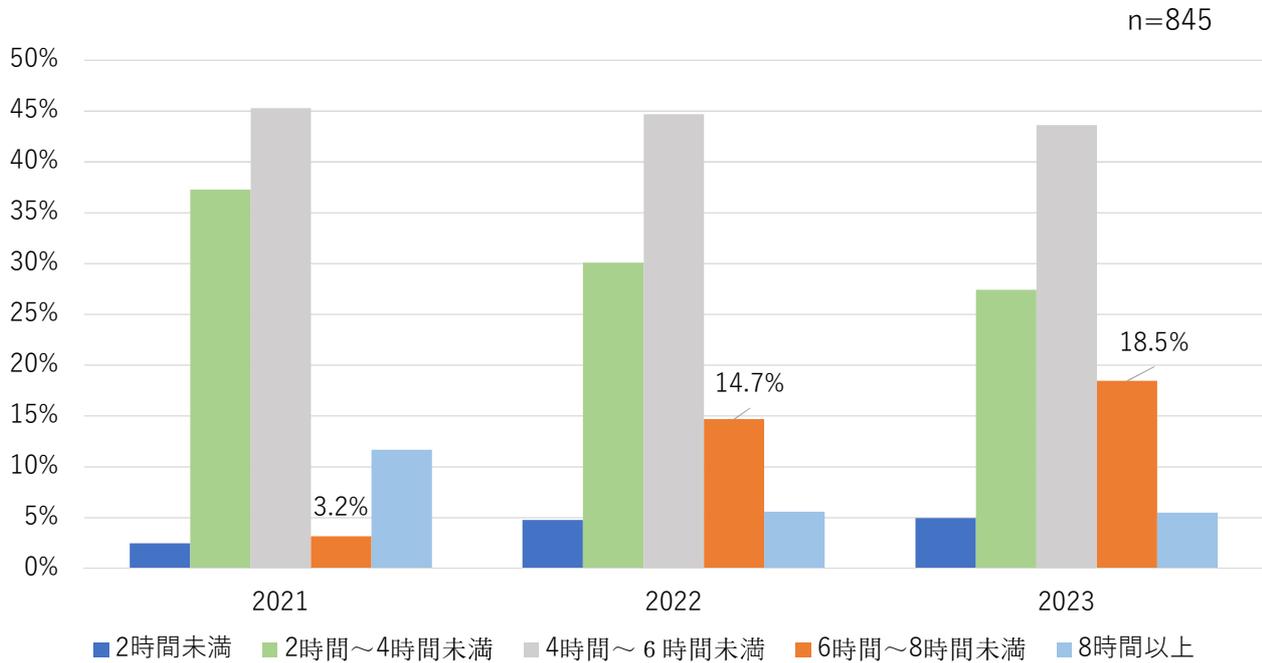
学費が高すぎて、
アルバイトをしているのに
生活費や参考書などを
用意するには足りない。

実習期間中にも関わらずアルバイトをせざるを得ない
学生が、**12.9%**もいる

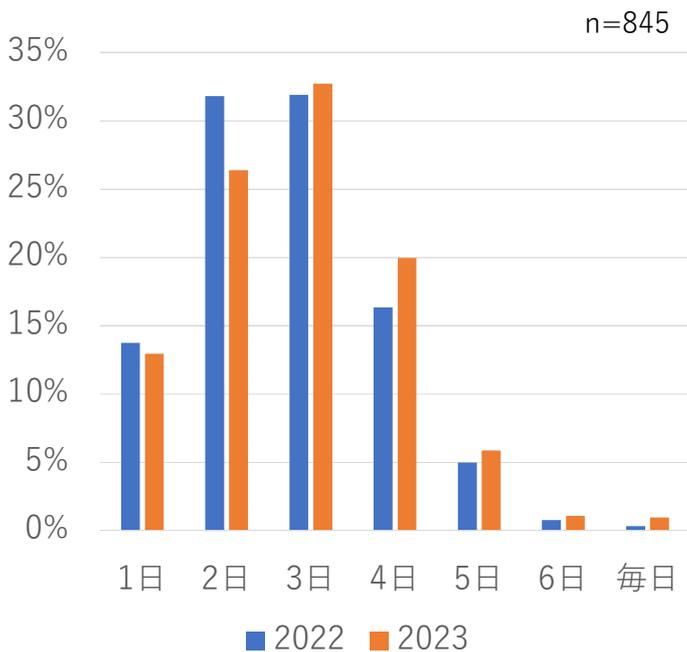
もっと給付金などの制度を
充実させてほしい。

アルバイトをしなくてもいいような
学費の見直しをしてほしい。

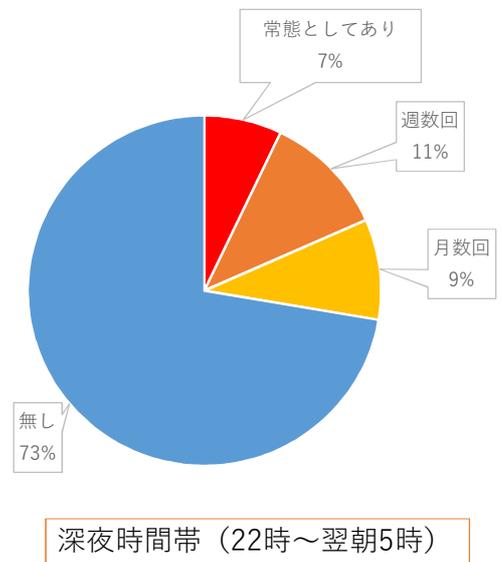
1日あたり6～8時間アルバイトをする学生が年々増加している



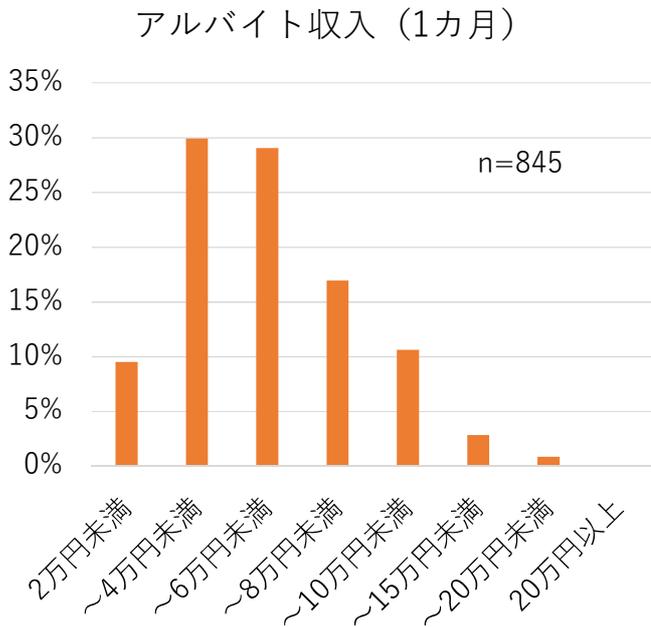
1週間のアルバイト日数がさらに増加している (平均)



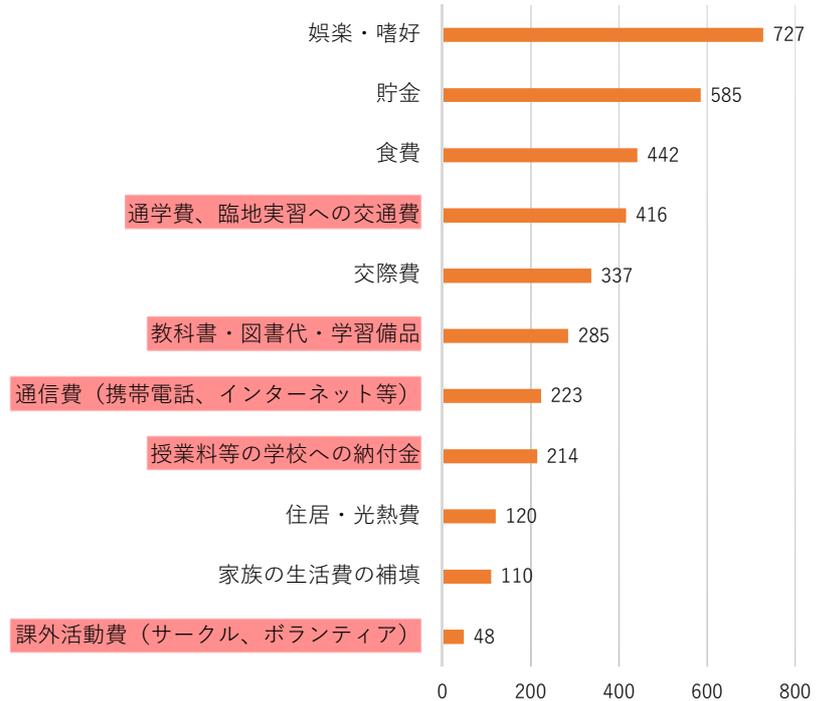
約3割が深夜時間帯にアルバイトをしている



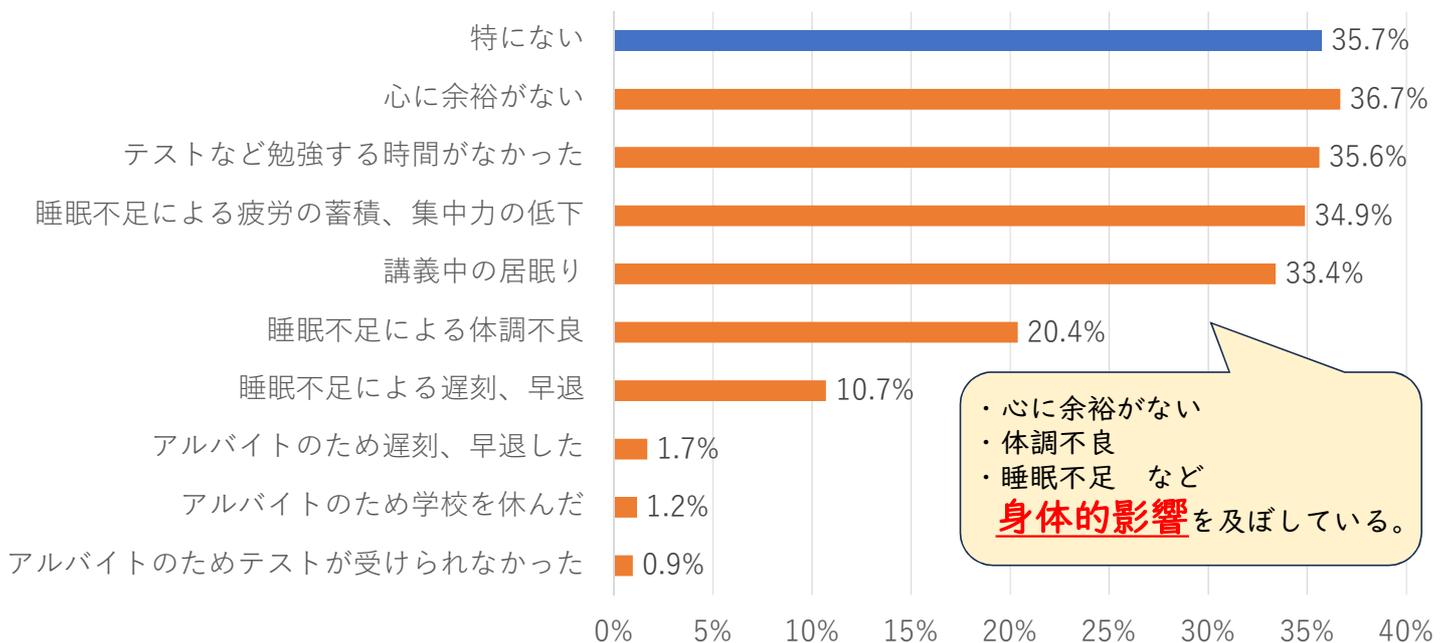
アルバイト収入の34%が 学業に必要な費用に使われている



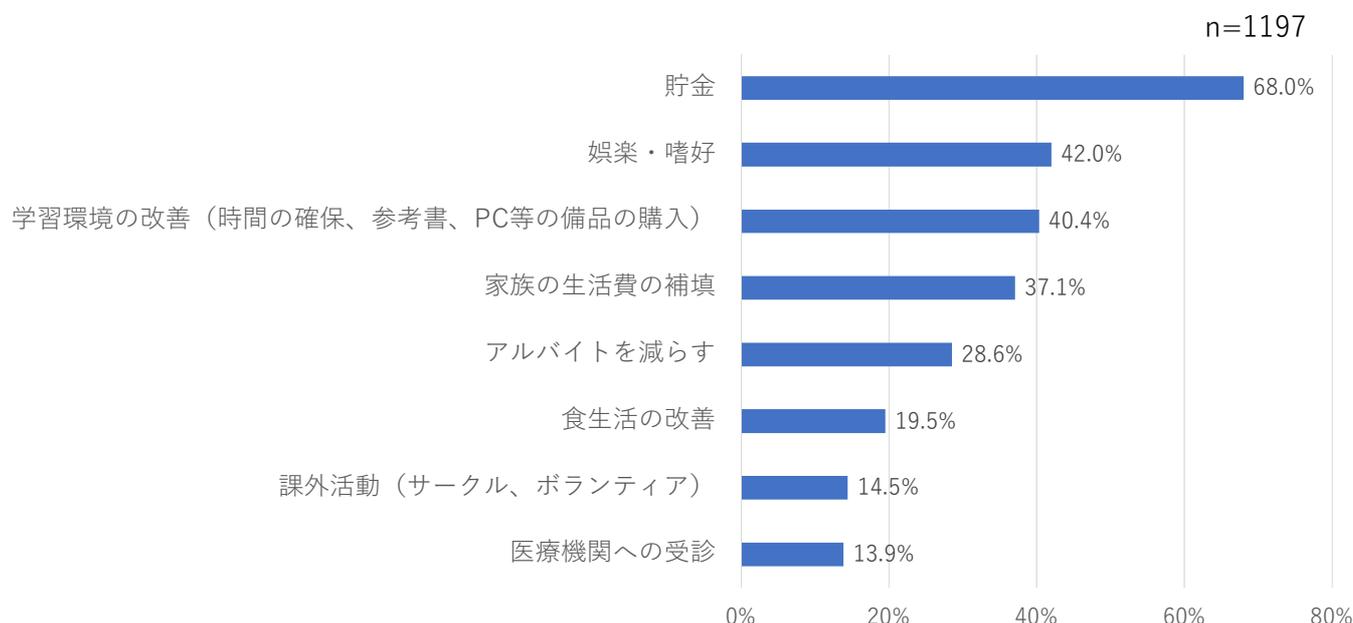
アルバイト収入の使途



6割以上の学生がアルバイトによって何らかの支障をきたし 学業との両立が厳しい状況にある



学費が無償になったら何がしたいか？



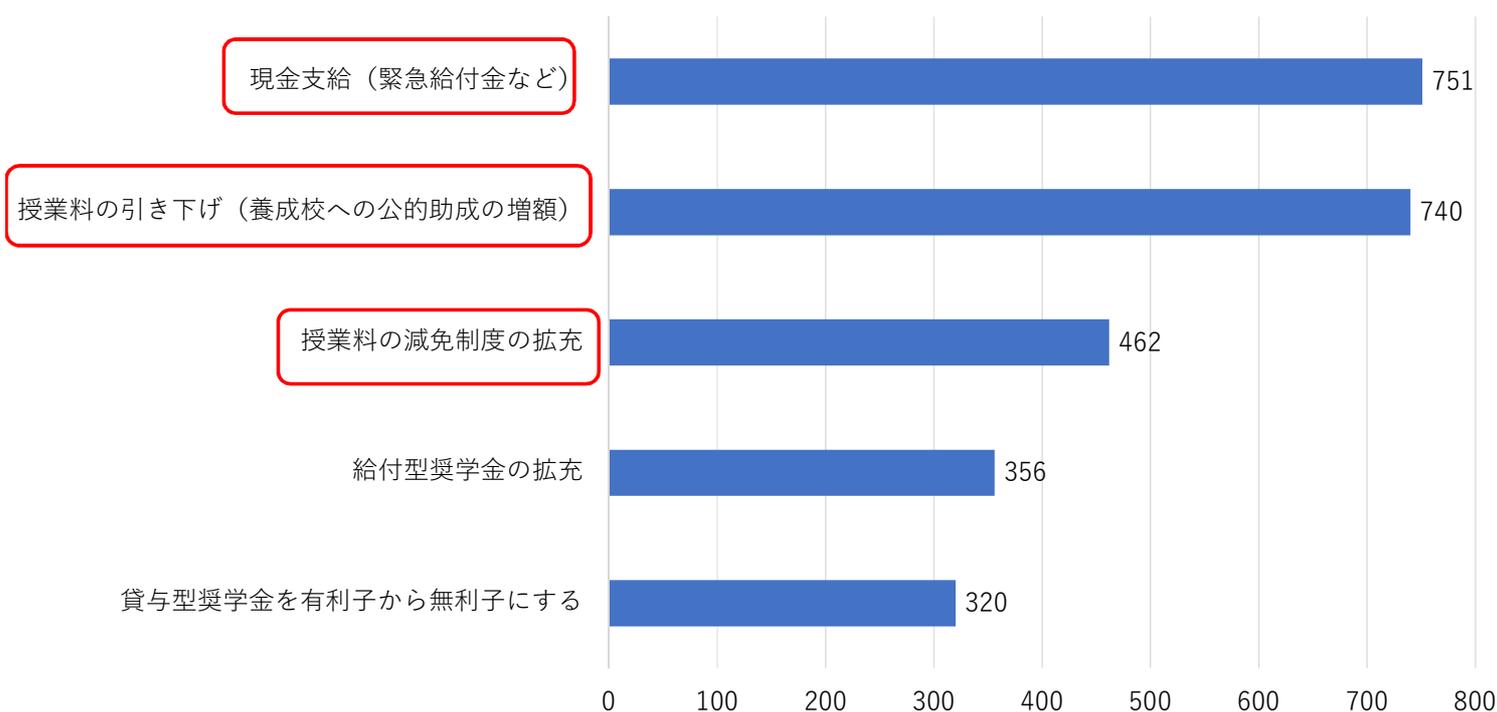
学生の要望（自由記載）

- 学費や交通費、その他にお金がたくさんかかる。奨学金も、もし資格が取れず返済出来なかったらと不安で申請もできなかった。
- 学びたくても、学費が高すぎて学ぶことを諦めている人も多くいると思います。もう少し、国の対策として学費を安くしたり、裕福ではない家庭への金銭的な対策、大学生の交通費や教科書代を安くするなど対策があったらもっと充実して学業に専念できたり、学ぶことを諦める人が減ると思います。
- 学生に目を向けてほしい。憧れの看護師を目指して勉強に励んでいるが、涙を流し希望を見失いそうになる毎日を過ごしています。私たちは地域の人々の健康と笑顔のために知識、技術、態度を身につけようと努力しています。その私たちが金銭的余裕がなく、高額な参考書が買えず、ほっと一息できる嗜好品も買えずにいます。
- コロナの5類化以降も、医療機関での感染対策はほとんど変わらず、学生の実習前のアルバイトの禁止は続いています。3年時はほとんど実習の為、バイトが出来ず収入が得られないという特別な困難があります。

調査大要

- 経済的基盤がぜい弱な中で、着る物や食べる物を削って学費に充当しながら、必死に看護職を目指そうとしている姿が浮き彫りになった。
- 8割の看護学生が奨学金返済について不安に感じており、しかも増加傾向にあることが判った。
- 奨学金を受けていない場合でも、その約半数は、必要だったにもかかわらず、保証人がいないなど要件が満たせず申請に至っていなかった。すなわち奨学金も受けられない、更に困窮している学生の存在がうかがえた。
- 看護職の資格を目指すという目的の為には、ほぼフルタイムのアルバイトが必須となっているが、そのことが学業に大きな支障となっていた。
- 日本の高学費は支払い能力を超え、看護職養成の大きな障害となっている。

国・自治体へ要望すること (n=1153)



事例～看護職養成校への聴き取り

- コロナ禍では、親の休業などで家計が厳しくなる学生がでてきました。痩せてきた学生に声をかけると、20の水だけで過していたこと、親からの仕送りがなく、学費が払えず、学校へ泣いて電話をしてきた学生もいました。
- 去年は、物価高騰の影響も加わり、授業料納入を遅らせてほしいといった相談が増えています。
- 新設された給付型奨学金には年2回、成績と世帯年収の適格認定があります。学生のアルバイト収入まで世帯収入とされている為、自活して家計を支えようとバイトを増やして認定から外されてしまった学生もあり、矛盾しています。

国への請願項目

1. 国際条約である「高等教育無償化」を速やかに履行すること
2. 給付型奨学金の拡充と要件緩和を行い、看護職を目指す全ての学生が利用できる制度にすること
3. 看護職養成校への国の補助金を充実させること

全日本民主医療機関連合会について

全日本民主医療機関連合会（民医連）とは
無差別・平等の医療と福祉の実現を目指す民間の医療・介護事業所等が加盟する全国組織。（1953年創設）47都道府県に事業所があり、職員数はおよそ8万3千人。看護専門学校は8校[北海道・秋田・山梨・東京（千葉）・京都・大阪・岡山・福岡]。

全国で毎年千人を超える看護職員を迎え入れており、学生時代から共に育ち合う為の企画や交流も重視しています。学業をサポートする目的で、加盟事業所の方針や人事政策に沿った独自の奨学金制度も運用しています。

お問い合わせ

東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7階
職員育成部・看護学生委員会 TEL 03-5842-6451

min-ikusei@min-iren.gr.jp

きらり看護 <https://kirarikango.com/>



区分	事業所数
病院	142
有床診療所	12
無床診療所	469
歯科診療所	79
訪問看護ステーション	228
保険薬局	347
薬剤・診療材料センター	33
看護・介護学校	8
検査センター	2
老人保健施設	50
介護医療院	2
在宅介護支援センター	23
特別養護老人ホーム	38
鍼灸所	3
研究所	2
ヘルパステーション	51
グループホーム	21
在宅介護福祉関係	215
ケアハウス	11
その他	13
合計	1,749